

議事要旨(3)論点整理「資産除去債務の会計処理に関する論点の整理(案)」について

冒頭、逆瀬副委員長より、資産除去債務の会計処理に関する論点整理について本日公表の議決を予定していること、また、公表後約1か月超のコメント募集期間を設ける予定であることが説明された。

続いて、吉田専門研究員から前回委員会からの修正点について説明がなされた後、委員より主に以下のような意見が寄せられた。

- ・ 「期待現在価値技法」及び「割引現在価値」という用語について何を示しているのかわかりかすべきではないか、「割引現在価値」という用語については「割引価値」とすべきではないかという意見が寄せられた。事務局からは「期待現在価値技法」については将来のキャッシュ・フローを見積って割り引くといった技法一般を指しており、それに対して「割引現在価値」については技法というよりは、それにより計算された結果を示しているものとして用語を整理しているとの説明がなされた。これらについては必要に応じて修正及び説明等を加えることとされた。
- ・ 資産負債の両建処理が引当金処理よりも負債計上に対する情報ニーズに対応することを示すべきではないかという意見が寄せられ、事務局では当該指摘を踏まえて文言を修正するとの説明がなされた。
- ・ 27項のオペレーティング・リースの記載について若干理解が難しいのではないかという意見が寄せられた。事務局からは「オペレーティング・リースで解約不能のものは、その支払いが不可避的である。しかし、それであってもファイナンス・リースのように資産負債の両建処理がなされるわけではなく、費用処理されているのは引当金処理と類似している」という例として示し、ファイナンス・リースを資産除去債務における資産負債の両建処理と類似する例として示しているとの説明がなされた。

審議の後、採決が行われ、字句等の修正については委員長に一任する前提で、出席者11名全員の賛成により、本論点整理の公表が承認された。

以上